

29、30日 ワーカーズコープ全国集会

「多文化共生」考えよう

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会の全国集会が29、30の両日に横浜市内で開催される。さまざまな社会的課題の解決に向け、1987年からほぼ2年置きに続く全国集会の県内開催は初めて。今回は「多文化共生」を大きなテーマに据え、各団体や専門家が先進事例を基に学び合う。

（桐生 勇）

「いま、『協同』が創る 菜津紀さんの記念講演、2019全国集会 in k anagawa」と題して

開催。県内の協同組合やNPO法人など34団体で立ち上げた実行委員会とともに準備を進めてきた。

「ちがいがおりなす豊かな未来」をテーマに掲げ、県民ホール（同市中区）で行う初日はオープニングパフォーマンスとして、川崎市川崎区桜木出身のラップ・FUNIさんが集会のために作ったオリジナル曲を披露。横須賀市出身のフットジャーナリスト・安田

は「人口減少社会で、とりわけ働き手の数が減り、外国にルーツがある人が数多く働いて暮らしている。これをどのように日本社会のありようとして定着させていくか、多文化共生が大きなテーマになる」と話す。

長は「近代や戦後の日本社会の歴史を象徴する多文化共生の地。また、日本の協同組合の源流ともいえる、二宮尊徳の報徳思想発祥の地でもある。協同組合同士のつながりが深い神奈川県はこれからのモデルになる。社会的困難や課題について、分野や専門を超えてつながり、共生社会の実現に向けて、ともに考えていきたい」と語り、参加を呼び掛けた。

問い合わせは、実行委員会事務局 ☎045(341)4192。

県内初開催 記念講演や分科会



神奈川での全国集会への参加を呼び掛ける古村理事長